



令和6年度第1回 地区別懇談会を開催しました

7月25日(木)
19:30~21:00
藤沢市医師会館ホール
出席者 47名
テーマ **ハラスメント
について**



職種	人数
医師	10
薬剤師	5
看護職	16
介護職	1
歯科衛生士	1
社会福祉士	2
ケアマネジャー	12

・ハラスメントを受けたことがありますか？
・今後ハラスメントを受けた時私たちはどの
ように対処していったらいいでしょうか？

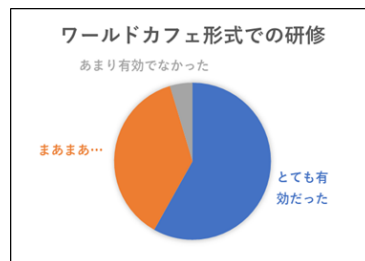
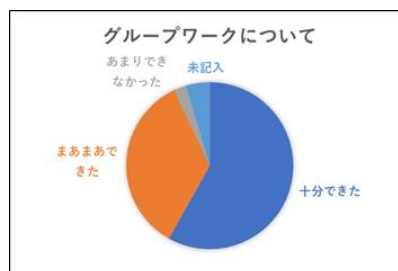
1 グループ5名~6名とし、ワールドカフェ方式で3回のメンバーチェンジをしてグループワークを行った。

その中では多くの方が、大なり小なりのバウハラ・セクハラ・カスハラと各種ハラスメントを経験したことがあるということだった。

ハラスメントが常態化している現場であるが、育ってきた環境や年代によってもハラスメントについての考え方が違うことや、看護師やヘルパー等は患者や利用者との距離が近いのでハラスメントを受ける機会が多いという声があった。

対策として上がったことは、ハラスメントを受けた時に一人で抱え込まずに情報の共有をする、記録に残す、複数で対応する、担当者の交代をする、できることできないことをきちんと返す、誓約書にハラスメントについての項目を入れる、ハラスメントがどういうものなのかという意識付けを常日頃から行う、法律専門職への相談をするなどの対処方法が上がった。

地区別懇談会の目的は「顔の見える関係づくり」であり、ワールドカフェで行ったグループワークは、メンバーを変えて話し合うので普段のグループワークより多くの方の意見を聞くことができた、顔の見える関係ができて良かった、次回もぜひという意見があったが、短い時間でグループ交換であったので関係づくりまでは難しかったという声もあった。



次回からの地区別懇談会で同意の得られた方の参加者名簿を配布することに関しては、開示をしても良いと回答された方が多かった。

秋以降に専門家によるハラスメント講演会を計画していますのでこちらもぜひご参加ください。

★8/27に開催した、多職種研修会については、次号で報告を行います。

医療法人社団正拓会

湘南太平台病院

地域連携室

湘南太平台病院は、一般障がい者病棟35床、療養病棟44床(療養病床22床・地域包括ケア病床22床)の79床の病院です。小規模の病院だからこそ、大病院が課題とする「医療サービスの谷間」をカバーし、地域の医療ニーズに素早く対応することができます。

有床医療機関として入院治療に注力するだけでなく、近年は在宅医療に力を入れてきました。バックベッドを備えているため、容態が不安定であっても安心感のある在宅サービスを提供できます。

地域包括ケア病床は、誤嚥性肺炎や尿路感染症等の治療目的の他、リハビリ・環境調整・レスパイト目的のご相談も多く、主なご紹介元は急性期病院や地域の介護支援専門員です。

平均在院日数は35日、在宅復帰率は約95%で、ほとんどの方がご自宅や元居たご施設へ退院されております。高い在宅復帰率を保つことができる理由として、病棟スタッフの在宅医療への関心の高さが挙げられます。当院の理念である“在宅から入院まで切れ目のない医療の提供”を実現すべく、地域連携室スタッフだけでなく、病棟で従事する看護師や理学療法士が「地域へ繋げること」を意識して日々患者様と関わっております。

また、当院では長期療養の患者様、特に人工呼吸器の患者様を積極的に受け入れております。人工呼吸器の患者様のレスパイト入院も可能ですので、療養生活でお困りの際はお気軽にご相談頂けますと幸いです。

